

# 石クリ通信

12月号

今年もお世話になりました

事務 森 多加子

今年最後の石クリ通信です。一年は本当にあつという間ですね。

昨年末、コロナに自由を奪われて窮屈な日々が続いたとお話ししましたが、今年も第6、7、8波とコロナウィルスは私達から離れてくれません。さほど怖いものでもないと言う感覚になつてしまいました。残りの1ヶ月、体調管理に気をつけて良いお年をお迎えください。

## 犬の訓練

事務長 石川 都

わが家の番犬ソッキ―がまだ一才前なのに力も強くなり、引っぱり飛びつき甘噛みも多いので、トレーニンングを始めることにした。

週に二日、各一時間ほどの訓練だが、トレーナーは専門家がけあつて犬とよく意思疎通し、厳しくも愛情深く接しているのがよくわかる。飼い主によくあるのは、犬の気持ちとのすれ違いらしい。犬がしてはいけない行動をしても、ダメダメ！と叱りながらも本気で止めず、まあこれくらい仕方ないか、甘えたいんだろ・・と許してしまう。例えば頭を撫でようと犬の前に手をひらひらさせることは、かえつて犬を煽り興奮させてしまうのだという。

間近でみるトレーニンングはかなり厳しいが、犬がトレーナーを畏敬の眼で見上げていたのがよくわかる。これまでは何も考えず、本能のまま暴れていたのが、訓練でやつてはいけないことを制止されると、犬もその度にかえ、判断しようとしている気配がある。確かに犬の問題行動は、飼い主がそうさせてしまっている部分も多いのかもしれない。ただ問題は、専門家の訓練でできるようなものになつても、毎日付き合う飼い主の前で同様にできるかどうかである。

本当ならもつと幼犬の時から訓練すべきだったのに、始めるのが遅れてしまったため、今からどこまで躡けられるか、いつになつたらやんちゃが収まるか、訓練時にできたことが家族にもできるか・・ソッキ―自身も、飼い主の私たちも、まさに試されている最中である。



無人島に持って行く本

院長 石川 悟

無人島に一人で行くとしたら、どのような本を持って行きますか？と聞かれて、いろいろな有名人名が答えているのを見たことがあります。何と言つても多いのは「聖書」。永遠のベストセラーとも言われていますし、納得できます。

誰が答えたかは覚えていませんが、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲のスコア（総譜）を持って行くという人がいました。カッコいいなあ、と印象的だったので、もし訊かれたら、自分もベートーヴェンの後期の弦楽四重奏曲のスコア、と答えようと思つています。

ベートーヴェンの後期の作品は難解で、聞いてすぐいいなあ、と思えるものではありません。しかし何度聞いても飽きが来ないし、聞くたびに新しい発見があります。ソナタ形式やロンド形式などそれまでの音楽の形式にとらわれず、また和声の移り変わりも現代にも通用する斬新さがあります。

スコアを見る（読む）と一つひとつの音符に込めたベートーヴェンの思いを感じることができます。交響曲やオペラなどのスコアは規模が大きくて、頁数も多く、歯が立ちそうにありませんが、時々海を眺めて、メロディを想像しながら弦楽四重奏の4つのパートを見ていくのはちょうどいい気がします。

アクティブな活動紹介

広報・ウェブ 石川 香

『アクティブな活動』という政治団体を立ち上げました。二〇二三年四月の統一地方選挙（市議会議員選挙）を見据えてのことになります。今回は活動内容として、アクティブな活動が目指す新しい選挙のやり方をご紹介します。

選挙と言えば、地盤・看板・鞆（お金）の三バンが必要と言われてきました。後援会名簿に名前を書くことをすぐに思い浮かべる方も多いでしょう。しかし最近はお金も労力もあまりかけず、SNSや動画サイトを大いに活用して、十八歳以上の若者にアピールしていくような新しい選挙の方法が、全国的に広まっています。

今の若い人たちは、ほぼインターネットから情報を得ていて、選挙に関しても同様です。個人情報保護が叫ばれる現代、住所と氏名を書いてもらう後援会名簿は若者には抵抗があると感じ、作らないことにしました。他にも、お金がかかり、少し近所迷惑になつてしまふような選挙カーは使わず、また子どもが小さいので、朝早くから駅前立つこともできません。それよりも、子連れのピクニックをして子どもたちを遊ばせている間に、他のママ達と立ち話をするような選挙活動にしようと思つています。まだまだ地域の地盤が根強く残る日立で、どこまで通用するか、新しい選挙の方法で挑戦してみたいと思います。

お世話になりました

事務 吉田 政子

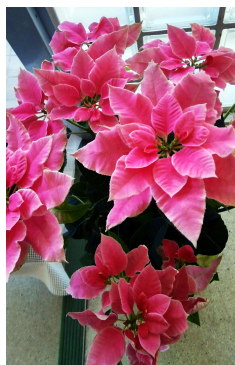
今年も、残り1カ月足らずとなりました。コロナに始まり、制限の中での生活だったような気がします。そんな中での我家の今年最大の慶事は孫が1人増えたことです。婆いばとしては、色々忙しい一年になりました。

残念ながらまだまだ、コロナは治まる気配がありません。体調管理をしつかり行い過ぎているかと思ひます。今年もお世話になりました。来年は、更に良い年になります様に。どうぞ、宜しくお願ひ致します。

ポインセチア

看護助手 柴田 さち子

花屋の店先にポインセチアが始めると、今年も一年が終わりを感じます。いて来たと感じます。年々、一日一日が早く過ぎてしまひます。今年もお世話になりました。来年も皆様にとつて良いお年になりますように。



ある休日の一日

看護師 澤田 彰子

いつもよりちよつと遅く起きて、洗濯を回して子供の弁当を作つて朝食を食べて洗濯物を干し、塾に送り、帰宅して掃除を済ませ、気がつけばお昼。洗濯物を畳んで、夕飯の買い物に行き、犬の散歩。夕飯を食べて片付けをして塾のおむかえ。あつという間に一日が終わる。ああもう家族に一言言いたい！私にだつて休みが欲しい！！

よいお年を・・

看護師 太田 小百合

今年も早いもので、年末のご挨拶をする時期となりました。本年もコロナの影響で不安なことが多く、何かと制限もされた一年でした。来年はどんな年になるのでしょうか。とりあえず、よい年末年始をお過ごし下さい。また来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

